

2020年9月20日

2020年12月15日修正

## 第71回日本商業学会全国研究大会運営方針

第71回全国研究大会プログラム委員会

第71回全国研究大会準備委員会

全国研究大会の報告会を活力に富んだ魅力あるものとするために、第71回大会では、以下の要領で運営することにいたしたいと存じます。全国研究大会を成功裡に運び、充実した発表・討論の成果を上げることができますよう、その趣旨をご理解の上、会員の皆様には宜しくご協力賜りますようお願い申し上げます。

- (1) 第71回大会では、統一論題、自由論題、ドクトラル・セッションの3種類の報告希望を会員の皆様から募集します。なお、従来のドクトラル・コロキウムは、ドクトラル・セッションとして全国研究大会の正規プログラムの1つとして位置付けることとします。
- (2) 統一論題、自由論題、ドクトラル・セッションの研究報告を希望される方は、別添の「2021年度日本商業学会全国研究大会報告申込書」(学会ホームページよりダウンロードできます)に必要事項をご記入のうえ、2020年12月21日(月)17:00(必着)までに、全国研究大会準備委員会宛にメール添付でお送りください。なお、メール添付以外の方法での申し込みをご希望の方は、全国研究大会準備委員会までご連絡ください。
- (3) 統一論題、自由論題の報告申し込みは、会員のみとしますが、非会員との共同研究報告は可能です。
- (4) ドクトラル・セッションは、大学院生が研究報告を行うセッションです。大学院生であれば非会員でも報告申し込みができます。
- (5) 会員の皆様からの積極的な研究報告希望を期待しておりますが、会場の制約もございますので、報告希望が過多の場合には、報告論集における報告要旨(3000字前後)よりもフルペーパー(1万字前後)の提出予定者(提出期限2021年3月31日(水))を優先することを基本として、報告内容に基づいてプログラム委員会および常任理事会において審査を行い、最終的に報告者を確定させていただきます。なお、フルペーパー提出の報告者として確定された方が、提出期限までにフルペーパーを提出されない場合には、報告辞退とみなされることもありますので、ご注意ください。

また、フルペーパーを提出される場合、他の学術誌との二重投稿は避けて下さい。

- (6) 同じ会員が複数の報告申し込みを提出しても構いませんが、今大会における1人の会員の報告機会（登壇機会）は1回とします。複数の報告希望があった場合に、そのいずれを採択するかは、プログラム委員会で決めさせていただきます。また、統一論題、自由論題、ドクトラル・セッションの選択について、プログラム委員会で審査の結果、申込者の希望とは異なる種別に変更していただく場合があります。あらかじめご了解下さい。
- (7) 新型コロナウイルスの感染状況により、全国研究大会の開催はオンライン会議形式で行う可能性があります。大会開催の会議形式に関する最終的な判断を 3月末までに学会会員に通知します。

なお、第71回全国研究大会のための準備作業スケジュールは、概ね以下の通りです。

2020年	12月21日（月）	：報告申し込み期限（必着）
2021年	1月中旬	：報告者決定通知
2021年	3月31日（水）	：フルペーパーまたは報告要旨の原稿提出期限
	3月末頃	：プログラム発送（予定）
	4月下旬	：全国研究大会参加申し込み期限（予定）

\*申し込みから1週間が経過しても報告申し込み受理の連絡が届かない場合や、採否の決定通知が2021年1月20日（水）までに届かない場合には、全国研究大会準備委員会までお問い合わせ下さい。

よろしくご協力下さいますようお願い申し上げます。